

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 529

事務事業名	西大村地区公民館管理運営事業
-------	----------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	社会教育課		
課長名	柳原 寅雄	内線	84-156
担当者名	遠藤 太美雄	内線	84-151

基本目標		人を育むまち
政策	010303	文化の振興と生涯学習の充実
施策		生涯学習の充実
関連施策		

会計	一般会計		
款	10	教育費	
項	5	社会教育費	
目	2	公民館費	
事業コード	030000	西大村地区公民館管理運営事業	

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 西大村地区公民館の利用者		
意図	対象をどのような状態にしたいか 地域住民のふれあいとコミュニティ活動の推進を図る。 快適な学習環境の施設提供により、学習活動を通して多くの人との関わりの中で、生きがいを感じながら充実した生活を送り、学習成果を自己啓発のみに止めることなく、居住地域にまで広めて地域の活性化につなげる。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か 指定管理者(西大村地区コミュニティセンター運営委員会)が管理運営を行っている。 ・会議室の貸し出し・定例利用グループ等による文化祭を年1回開催 ・利用グループ活動の紹介広報誌を作成 ・ひまわり文庫を併設し、毎週土曜日に解放している。		
事業期間	昭和 60 年度 ~ 平成 年度	実施方法	委託
根拠法令、要綱等	社会教育法、大村市公民館条例及び同施行規則、大村市地区コミュニティセンター設置条例及び同施行規則		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 開館日数	計画値	308	308	309	308	
		実績値	289	293	292		
		達成度	93.8%	95.1%	94.5%		
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	① 公民館利用者数	計画値	14,000	14,000	14,000	14,000	
		実績値	12,880	15,704	16,707		
		達成度	%	92.0%	112.2%	119.3%	
	② 公民館利用件数	計画値	1,350	1,350	1,350	1,350	
		実績値	1,345	1,191	1,128		
		達成度	%	99.6%	88.2%	83.6%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	4,148	2,372	2,372	5,372	2,372	2,372	2,372	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	4,148	2,372	2,372	5,372	2,372	2,372	2,372	
② 人件費(千円)	636	680	564	654	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.08	0.09	0.08	0.09	施設、設備等の管理に関する委託等	施設、設備等の管理に関する委託等	施設、設備等の管理に関する委託等	
時間外勤務(時間)	0	0	0	0				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	4,784	3,052	2,936	6,026				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	主に西大村地区の地域住民のための生涯学習施設として有効に活用されており、今後もさらなる利用促進により地域活性化のために寄与するものと考えられる。H28年度で小集会室、和室、事務室の空調設備改修を行った。
事業が抱える問題・課題等	建物の老朽化が進んでおり、今後改修費用等が膨らむ可能性がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
		利用している地区住民のボランティア等による協力を前提にした金額であり、指定管理者の運営状況からみて、これ以上委託費を削減しては運営に支障をきたす。 同上の理由により、見直しの余地なし。					

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	地域の運営委員会により円滑かつ効率的に運営され、地域に根付いた活動及び施設運営がなされており、地域住民の生涯学習拠点としての機能を今後も果たす施設であるため事業を継続する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	地域住民の生涯学習、文化の向上、また台風などの避難所として施設を有効活用できる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。